



子育てしやすいように職場環境を整えることは、従業員のやる気創出や業務の効率アップが期待できます。こうした取組の積み重ねが少子化克服への一歩です。子どもは社会の宝。仕事と子育てを両立しやすい環境づくりに会社全体で取り組んでいる企業へおじゃましてきました。



株式会社安藤醸造（仙北市）

業種:製造業 従業員数:73名

<http://www.andoijozo.co.jp>

創業嘉永六年の老舗醸造元。味噌、醤油、漬物を中心とする商品は、無添加・天然醸造が特徴です。仙北市角館に4つの店舗を構え、地元のみならず、国内外から訪れる観光客にも高く支持されています。

残業の事前承認で コストと時間のムダをカット

安藤醸造で繁忙期となるのは、贈答用の商品の受注が集中するお中元とお歳暮の季節です。日頃はノー残業で帰宅できていても、この時期ばかりは、製造ラインが追い付かなくなる場合もあるそうです。

今年から同社では、より効率的に業務を行うため「残業事前承認制度」を導入しました。この取組の当初の目的は、残業コストの削減でした。所定外労働を計画的に把握・管理するようになってからは、コストとともに日常的な時間のムダも減らせるようになりました。また、残業が生じた場合も、なるべく帰宅時間が遅くならないよう、朝早めの出勤で調整するなどの工夫をしています。



●従業員から
(製造 津嶋さん親子)

夕飯は家族一緒の食卓で

「仕事の終わりが見えないまま働くのと、あらかじめ決めた終業時間を事前に申請するのは、気持ちの面でもまったく違います」と津嶋さん。「いつもは定時に帰宅でき、家では田んぼもつくっているので、とても助かっています。たまには息子たちとキャッチボールをすることもありますね。夕食の時間には、家族全員が揃います」。

取材当日は、地元小学校による会社見学が行われ、津嶋さんのお子さんも参加しました。この日は津嶋さんが、味噌・醤油ができるまでの工程を子どもたちにわかりやすく説明しました。「お父さんの発表を聞くのが楽しかった」と息子さん。働く父の姿を見ることができる、貴重な体験になったようです。



●職場から
(安藤専務取締役)

所定外労働削減を子育ての充実に

その日のうちにやらなくてもいい仕事は、翌日にまわせばいいだけのことです。何の作業にどれくらいの時間がかかるのかを考えて仕事をすると、働く側の意識も変わってきます。残業事前承認制度の導入は、人件費の削減をするだけではなく、各自の仕事への向き合い方を再確認するきっかけづくりにもなりました。ワーク・ライフ・バランスを大切にしながら、この所定外労働削減の取組がやがて子育ての充実にもつながればいいなと考えています。当社には、男性の育児休業取得者がいます。この流れが、他の男性従業員にも広がっていくといいですね。今後も両立支援のためのいい方法があれば、他社から学び、積極的に採り入れていきたいです。



効果が見られた点

- ◎所定外労働の管理は、コストの削減に効果あり。
- ◎定時の帰宅は、家族とのコミュニケーションを深める。